

## 「嘔吐物の処理方法」の勉強会

愛里病院が属している苑田会のリハビリテーション科では、新人教育プログラムとして前期に「感染対策の基本的な考え方と対応方法」「原因菌別の感染対策」「遭遇しやすい汚染場面」等を学び、後期はより実践的な「嘔吐物の処理方法」を学びます。

愛里病院では1～3年目の計8名のセラピストを対象に12/22・23・24の3日間に分けて少人数で「嘔吐物の処理方法」の勉強会を開催しました。今回は、青汁とコーン茶の素を100mlの水で薄めて模擬的な嘔吐物を作成し、座った状態から嘔吐するといかに拡散してしまうのかも体感してもらいました。

後輩セラピスト達は、想像以上に広範囲に拡散した模擬嘔吐物を見てはじめは驚いていましたが、普段使用している個人用防護具を手際よく着用し作業を開始できました。ペアになり主軸で処理をする人とサポートする人に分かれ、ポイントをおさらいしながら作業を進め全員が嘔吐物の処理を経験することが出来ました。



私はセラピストとして十数年働いていますが、実際の嘔吐物処理は1度しか経験がありません。頻回に起こることではない為、実際の処理キットの中には手順表も入れてあります。今回を通して、若手スタッフも嘔吐物処理ができる状態になりました。今後も皆様の健康をお支えできるよう、感染予防に努めてまいります。

リハビリテーション科 伊藤